

松高11期4人組のドイツ旅・写真日記（2）

新谷 勇人

旅はトラムに乗って

ベルリン観光2日目はベルリンから近郊のポツダムへ。ターゲスカルテ（1日フリー切符：6ユーロ）を買って出発。このターゲスカルテが実に便利。バスでも電車でも地下鉄でも何だってフリー、フリー、フリー。

ポツダムまではSバーン（近郊電車）で25分。ところが爆弾騒ぎか、何かが発火したのか、とにかく2駅手前でストップ。例えて言えば、大阪から新快速で京都に向かったところ、事故のため高槻駅で降ろされた、って感じです。とても歩ける距離じゃありません。

ドイツ人は総じて英語が苦手みたい。こちらはドイツ語も苦手。でもポツダムまでは行かなければなりません。仕方なく身振り・手振りを混ぜながらも前進、前進また前進。

まず降ろされた駅で推測と憶測とを重ねてトラム



ム（市内電車）に乗った（写真1窓際の女性は公子さん、その隣が新谷、後（手前）が村尾君、撮影は田中君）。客に教えられた停留所で下車しておっかなびっくりでバスに。ようやく目的のポツダムはサンスーシに着きました（写真2）。



ここを見学してからまたバスに乗って、私どもには懐かしいポツダム宣言が出たツェツィーリエンホーフ宮殿（アー舌噛みそう）を見物。昼飯を食べてビールを飲んで帰途へ。

ところが帰りもSバーンは回復してしてなかった。どないすると協議したが、私には知恵はない。仕方なしにぼんやり歩いていると、誰かが怒鳴った（らしい、何しろドイツ語は分からない）。ビックリしてよく見ると、何と火事場に入り込んでいるじゃありませんか。しかもはしご車が出ている。凄い凄いとつい見入っちゃった。（写真は田中氏撮影）



その間村尾君らは必死に情報を集めた。その結果は「800メートル下ったところにトラムの乗り場があるらしい」「そこで3両連結でくるトラムに乗って終点で降りる」「終点では905番のバスに乗ればSバーンの駅に出る（らしい）」というもの。

火事場を離れた小生は「ほんまかいな、そんな曖昧な情報でベルリンに帰れるんかよ？」とは思ったが、黙っていた。だって夜9時まで明るいのです、時間はたっぷりあるのですから。

おそろおそろ行くと確かに3両転結のトラムが来た！。その終点でしばらく待つと905番のバスが来た。それに乗ったら駅の名は知らないけれど、ともかくSバーンに出た。ヤレヤレと無事にベルリンへ。フリー切符で全部がフリーでした。明日はドレスデンです。